

National

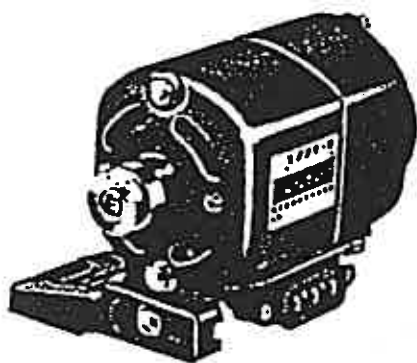
ナショナル ミシンモータ

品番 DY-152A, B 職業ミシン用
(AC 100V)

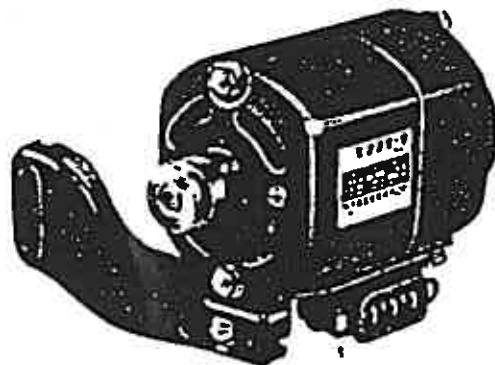
取扱説明書

DY-152A

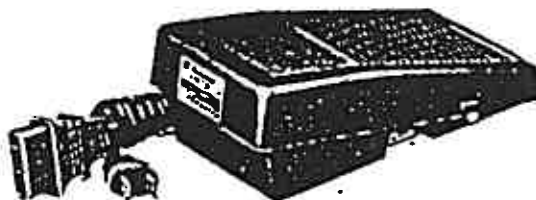
モータ



DY-152B



コントローラ



- このたびは、ナショナルミシンモータDY-152A, Bをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
- ご使用の前にこの説明書を必ず熟読したうえ、正しくお使い下さい。
なお、後々のため、この説明書は大切に保存して下さい。

安全上のご注意

本製品は、職業マシン用です。他の用途にはご使用にならないで下さい。他の用途でのご使用には、別途検討しそれに基づく仕様書の取交わしが必要です。尚、モータ取扱い、機器組込み・運転の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくご使用下さい。モータの知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用下さい。この取扱説明書では、特に安全注意事項について「注意」と明記してあります。

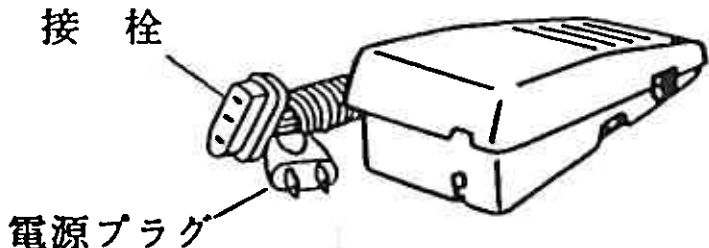
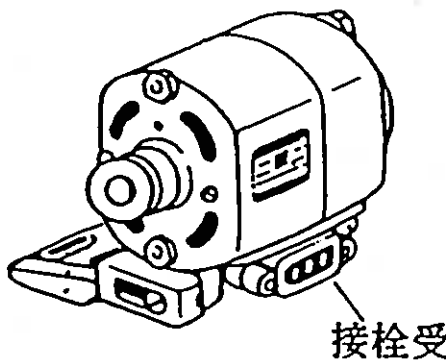
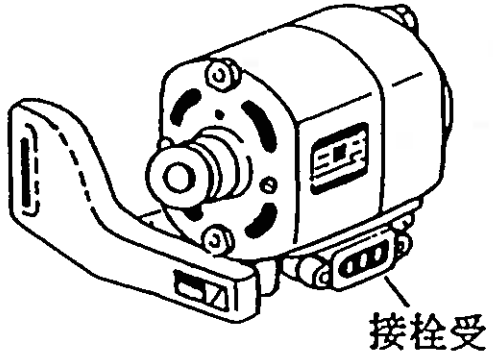


ご 注 意

：取扱いを誤った場合に危険な状況が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および機器損傷の発生が想定される場合。

尚、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

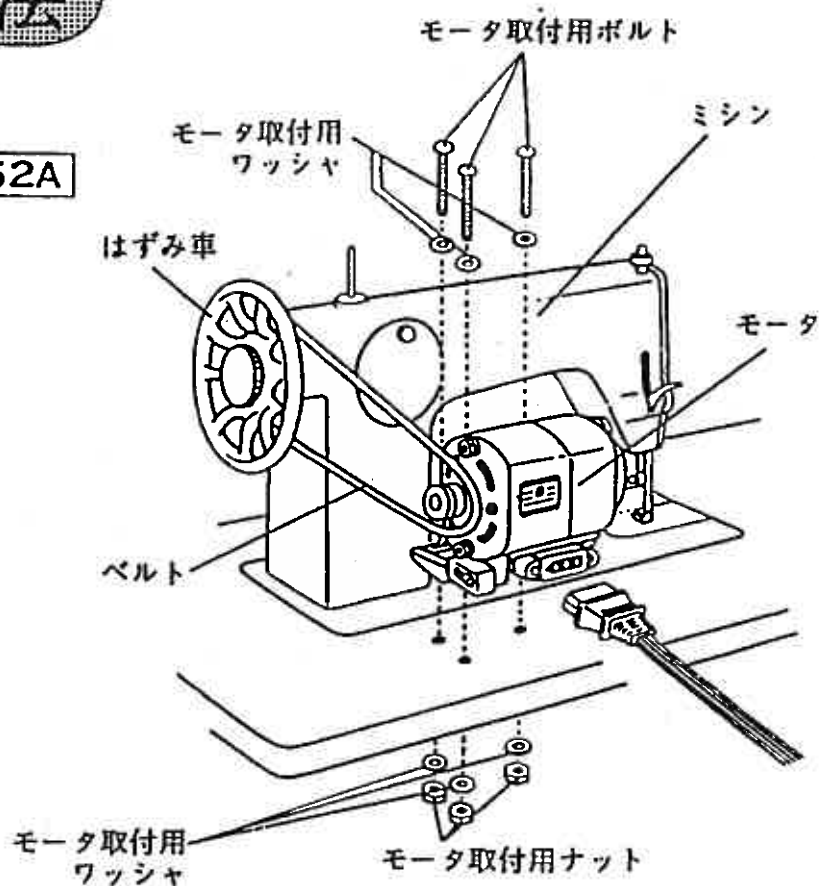
各部品の名称

	DY-152A	DY-152B
コントローラ	 <p>接栓</p> <p>電源プラグ</p>	
モータ	 <p>接栓受</p>	 <p>接栓受</p>
付属部品	<p>モータ取付用ナット 予備カーボンブラシ</p> <p>モータ取付用ワッシャ 糸巻取付用ネジ</p> <p>モータ取付用ボルト</p> <p>糸巻台</p> <p>糸巻台取付用ワッシャ</p> <p>糸巻台取付用ネジ</p> <p>ベルト</p>	<p>モータ取付用ネジ モータ取付用スプリングワッシャ</p> <p>モータ取付用ワッシャ</p> <p>予備カーボンブラシ</p> <p>ベルト</p>

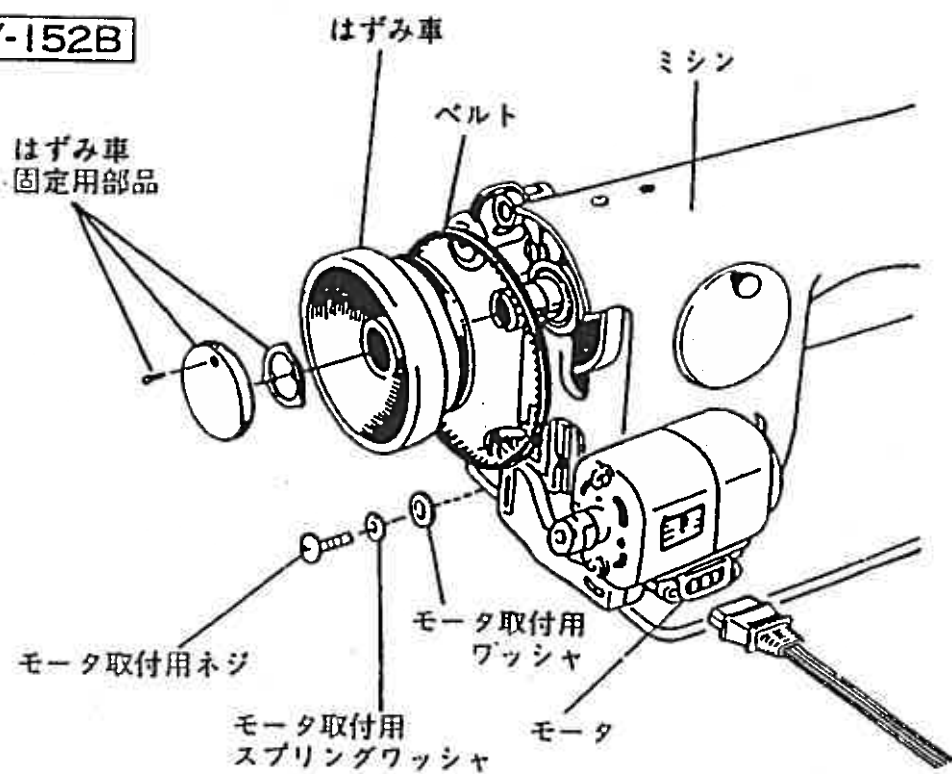
取付け方法

(1) 取付け概略図

DY-152A



DY-152B



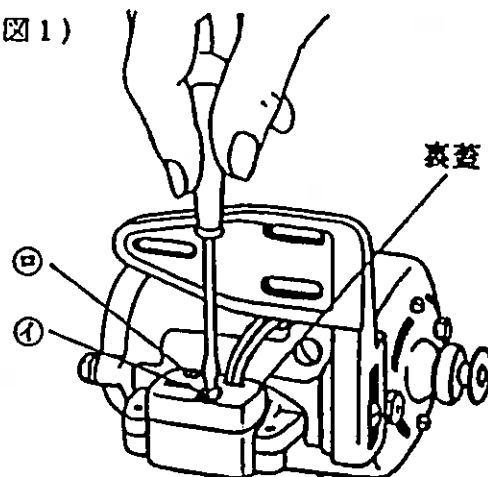
(2) ミシン電灯の結線

DY-152A, B

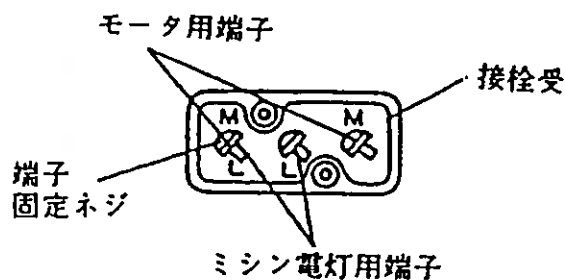
ミシン電灯をご使用になる場合は次の順序で結線を行ってください。

- ① コントローラの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② モータ接栓受の裏側のネジ①②2本をゆるめ、裏蓋をはずします。(図1)
- ③ ミシン電灯のコードを裏蓋の穴に通し、接栓受のLL符号のついた端子に端子固定ネジを用いて接続してください。(図2)

(図1)



(図2)

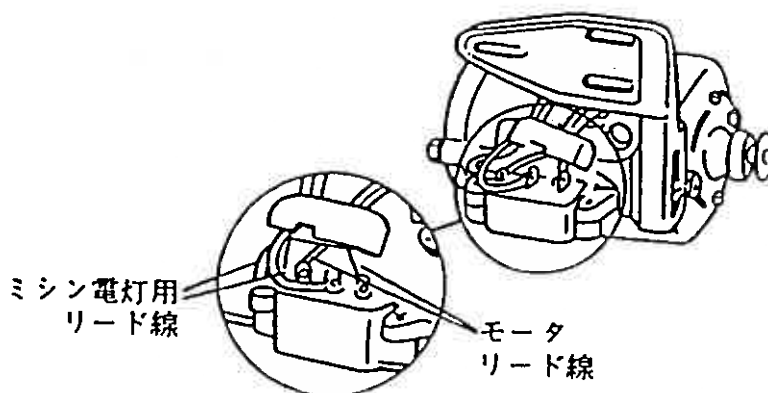


●コードの素線がとなりのコードの素線や端子に接触しないように注意してください。

特に、L-L端子間は絶対に接触させないで下さい。発煙・発火の恐れがあります。

●ミシン電灯の電源は、AC100Vです。

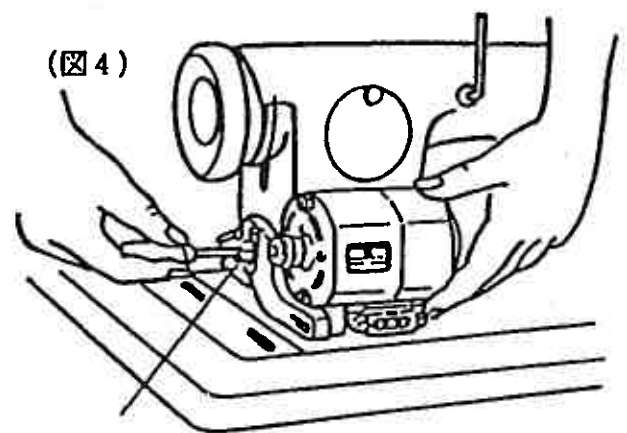
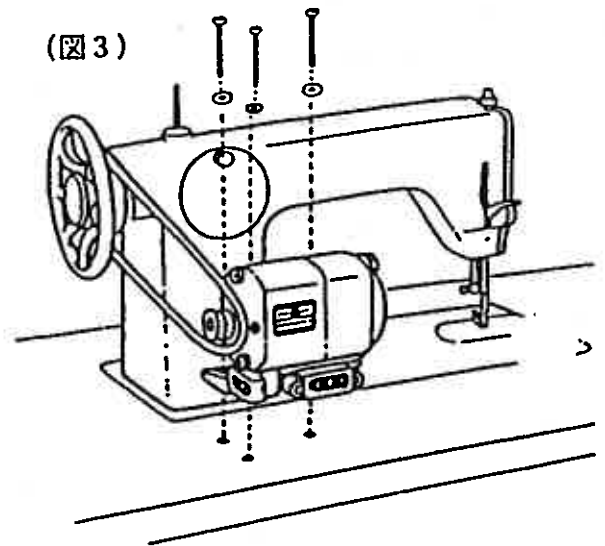
- ④ 裏蓋を閉じた後、①②2本のネジで元のように取付けてください。



(3) モータの取付け

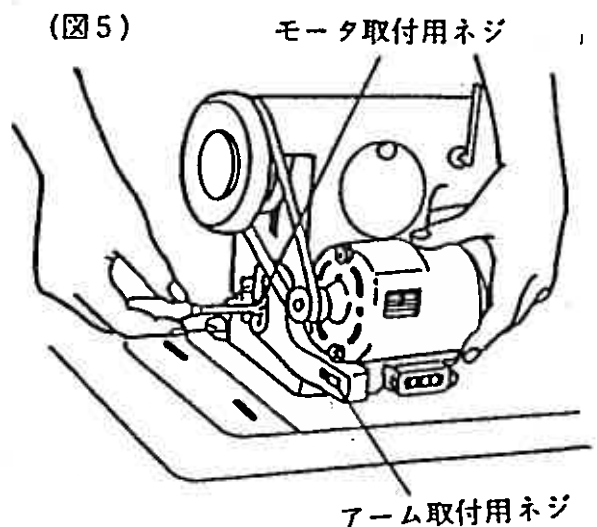
DY-152A

- ① ミシンのはずみ車とモータのプーリにベルトをかけた状態で、モータをミシンテーブルの上に仮置きします。
- ② ベルトの張りが、ベルト中央部で1[kg]の力を加えて10[mm]たわむようにモータの位置を調整し、ミシンテーブル上にモータ取付ベースの長穴中心の位置を示す印をつけます。
- ③ 仮置きしたモータをいちど取外し、②でつけた印の位置に直径6.5[mm]の穴をあけます。
- ④ 再度モータを設置し、ベルトの張りが②の条件になるように調整しながらモータ取付用ボルトで確実に固定してください。(図3)



DY-152B

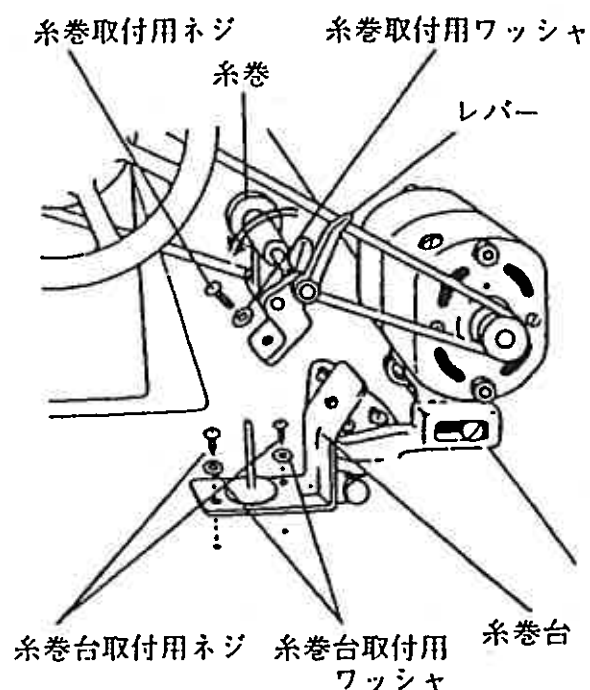
- ① モータをミシン本体に仮取付けしてください。(図4)
- ② ミシンのはずみ車とモータのプーリにベルトをかけてください。
- ③ ベルトの張りが、ベルト中央部で1[kg]の力を加えて10[mm]たわむようにモータの位置を捜し、モータ取付用ネジとアーム取付用ネジの双方で調整し確実に固定してください。(図5)



(5) 糸巻台の取付け

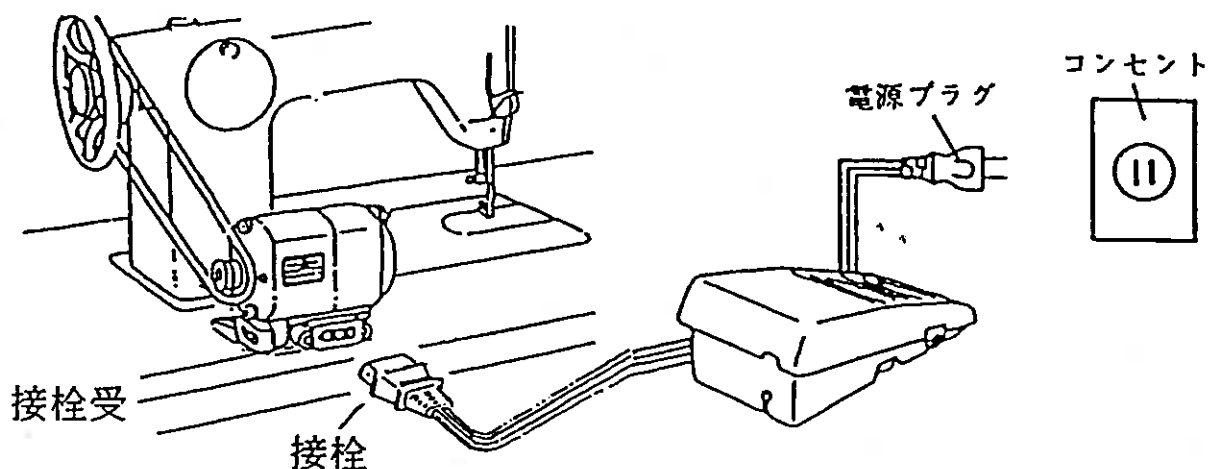
- ① ミシン本体についている糸巻を外し、糸巻台に糸巻取付けネジを用いて取付けてください。
- ② 糸巻台をミシンテーブルにネジ止めしてください。この場合、糸巻のレバーを下げた時、糸巻のプーリがベルトと接触して回転し、レバーを上げた時にはプーリがベルトから離れ、回転しないように取付けてください。(図6)

(図6)



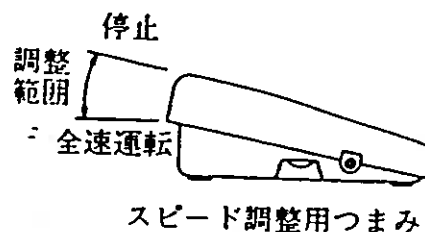
使用方法

- (1) モータの接栓受とコントローラの接栓を接続した後、コントローラの電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。



- (2) コントローラの踏板を少し踏みますと、モータが回転しミシンが動き始めます。

さらに踏みこんでゆくとモータ（ミシン）の回転スピードは増加してゆきます。



スピード調整

コントローラの横側についたスピード調整用つまみにより、コントローラ踏込み時の全速運転（最高スピード）を1から6まで無段階に変えることができます。

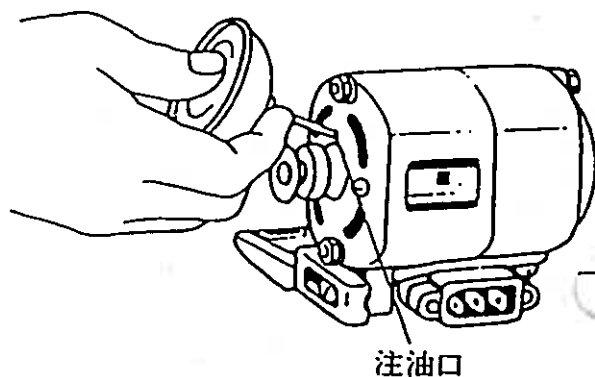
⚠ ご 注 意

- スピード調整用つまみの数字は1から6に向かうにつれてスピードが増加するようになっています。
- 50ヘルツ地域でご使用される場合と、60ヘルツ地域でご使用される場合でモータの特性が若干異なりますが、故障ではありません。
- コントローラの踏板の上には絶対に物を載せないでください。
物を載せたまま放置されますと、発煙・発火、火災の恐れがあります
ミシンを離れる時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください
- コントローラは合成樹脂性ですので化学薬品・油などがつきますと変色・変形することがあります。

保守と点検

(1) 給油

ミシンモータにはオイルレスメタルを使用していますので、1ヵ月に1～2滴ミシン油を給油口に差していただければ結構です。

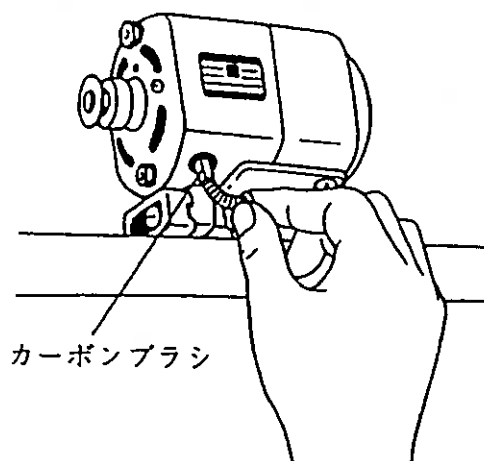
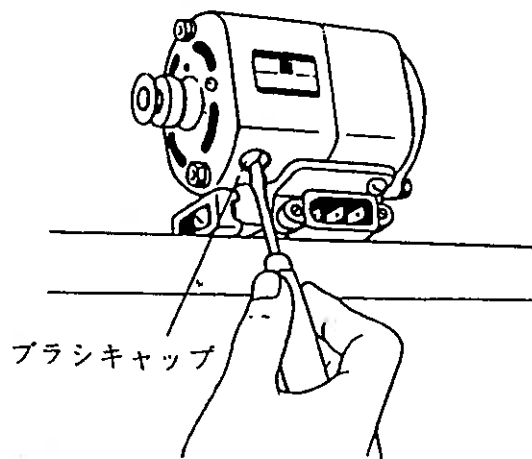


⚠ ご 注 意



給油口以外のところに油を差したり、給油量が多すぎたりした場合には、モータ故障の原因となりますのでご注意ください。

(2) カーボンブラシの取換え

カーボンブラシは、モータを使用するにつれて短くなってゆきますので2～3ヵ月おきにご確認の上、カーボンブラシ全長が4～5[mm]になりましたらお取換えください。



※取換え順序

- ①   感電の恐れがありますので、コントローラの電源プラグをコンセントから外してください。
- ② ブラシキャップをはずし、カーボンブラシを取り出してください。
- ③ 予備のカーボンブラシを入れ、ブラシキャップをもとどおりに取付けてください。





ご 注 意

カーボンブラシの取換えは早めにしてください。モータが回らなくなるまで使用されますと、予備カーボンが使用できない場合があります。

アフターサービス

(1) 故障と!?思われましたら

-  必ず電源プラグを抜いてから、次の表に従って調べていただき、直らないときはお買求めの販売店へ修理をご依頼ください。

症 状	処 置 方 法
コントローラを踏んでもモータが回転しない	① ベルトをはずしたとき、コントローラを踏めばモータが回るかどうか確認してください。回ればミシンの負荷が重すぎますので軽くしてください。 ② モータ接栓受とコントロール接栓の接続、電源プラグとコンセントの接続が確実に行われているか確認してください。 ③ 速度調整用つまみが低速（1または2）であればもう少し右に回し、高速に設定してください。 ④ カーボンブラシを取出し、全長が4～5[mm]以下になっておりましたら、販売店にご連絡ください。
モータが臭う	<div style="text-align: center;">  ご 注 意 </div> <p>発煙・発火、火災の恐れがありますので、ただちに使用を中止し販売店にご連絡ください。</p>

(2) アフターサービス等について、おわかりにならない時には、お買求めの販売店にお問い合わせください。

仕 様

品 番	DY-152A	ベースタイプ
	DY-152B	アームタイプ
定 格	モ ー タ	100V 50/60Hz 出力75W
	コントローラ	100V 50/60Hz 2.2A
コ ー ド	モータ、コントローラ間	1.2m
	コントローラ、電源間	2.0m

松下電器産業株式会社 産業機器モータ事業部

〒574 大阪府大東市諸福7丁目1番1号 電話(代表)大東(0720)71-1212

072-871-1212